

(3) 第3学年の実践

①単元名

**This is for you. カードをおくろう (Let's Try ! 1 Unite 7)**

②単元の目標

- ・相手に伝わるように工夫しながら、欲しいものを尋ねたり答えたりしようとする。  
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- ・英語で欲しいものを尋ねたり、答えたりする表現の仕方に慣れ親しむ。  
(外国語への慣れ親しみ)
- ・日本語と英語の音声の違いに気付き、形の言い方や、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に気付く。  
(言語や文化への気付き)

③仮説検証についての具体的取組

仮説1-①「興味・関心を高める場面設定」 ○コミュニケーションへの関心・意欲を高めるために、「オリジナルフラッグ作り」という場面設定をすることで、積極的に欲しい色や形のカードを尋ねたり答えたりし、自分が考えて作ったオリジナルフラッグを紹介したいという活動への意欲付けをした。
仮説1-②「英語に慣れ親しませるための工夫」 ○歌や絵本を活用し、リズムにのって楽しく体を動かしながら活動できるようにした。 ○クイズやゲームを取り入れ、児童が飽きずに意欲的に活動できるようにした。 ○児童が自信をもって発話できるように、一人で発音する、ペア、グループ、全員での活動の場を確保した。
仮説1-③「コミュニケーション活動の工夫」 ○コミュニケーションでは、「アイコンタクト」「リアクション」「クリアボイス」を心掛けさせるようにした。 ○特に支援を要する児童には、必要に応じた声掛けを行うようにした。
仮説1-④「評価の工夫」 ○中間評価を行い、めざす児童の姿をモデルとして示すことで、コミュニケーション活動のポイントを確認するようにした。 ○適宜ふり返りカードを活用し、活動の様子を把握したり、次時の学習に生かしたりする。自己評価や相互評価により次時の活動の意欲につなげていった。
仮説2-②「他教科他活動との関連」 ○学習した色、形の英語を、国語や音楽等と結びつけて、他教科との関連付けを図った。 ○ALT や英語教育指導員との交流を大切にし、関わろうとする態度や英語を使おうという活動意欲を育んだ。

④本時の学習 (6/10)

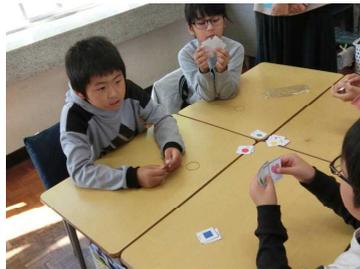
過程	学習活動	教師の支援・児童の様子
たしかに出会う	1 <b>Greeting</b> あいさつをする。 2 <b>Warm up</b> 「Sunday Monday Tuesday」を歌い、絵本の読み聞かせをする。 	○あいさつを交わし、簡単な振り付けで歌ったりして楽しく活動できる雰囲気をつくった。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                         【仮説1-②】                          歌は、単語の頭文字を体で表現しながら、楽しく活動に入ることができた。絵本の読み聞かせをすることで英語での表現に慣れ親しめた。                     </div>
	3 <b>Today's goal</b> 本時のめあてを確認する。 <div style="border: 2px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                         ほしいものをたずねたり答えたりする言い方になれよう。                     </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                         【仮説1-①】                          オリジナルフラッグ作りのために必要な表現の仕方になれようと意欲を高めた。                     </div>

かんがえてやってみる

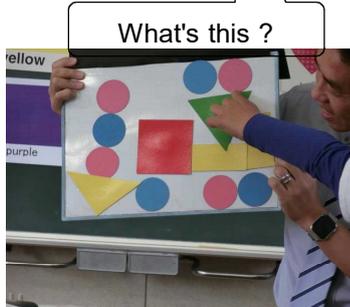
- 4 **Activity1** チャンツをする。
- ・気をつけたい発音やリズム、コミュニケーションのポイントを話し合う。
  - ・マッチングゲームをする。



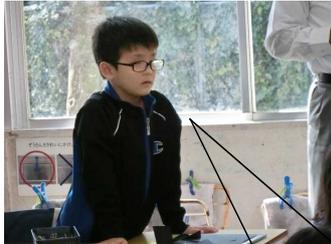
◎マッチングゲーム (ババ抜き)  
 A: What do you want?  
 B: (色、形)~.please.  
 A: (有)OK! Here you are. / (無) Sorry.  
 B: Thank you.  
 A: You' re welcome.  
 を繰り返す。



- 5 **Activity2** 「これは何でしょうゲーム」をする。  
 A 班と B 班に分かれて、クイズを紹介する。



- 6 **Look back** 振り返りシートを書き、発表する。



ゲームがたくさんできて楽しかったです。

自分から英語で話しかけられたのでよかったです。

- 7 **Ending** あいさつをする。

きづき 親しみ伝え合う

これまでを振り返る

【仮説 1-②】

ゲームを通して、児童が飽きずに意欲的に活動することができた。カードを増やすことで、さらに語彙数も増やすことができた。

【仮説 1-②】

ゲームを取り入れることで、児童の発話数も増え、自信をもって発話できるようになった。

【仮説 1-③】

コミュニケーションのポイントを心掛け、会話をはずませるようにした。児童同士で教え合う場面も見ることができた。

【仮説 1-④】

中間評価を行い、コミュニケーションポイントを絞って評価したので、意識して活動する様子が見られた。

【仮説 2-②】

算数の図形の学習と関連させ、クイズの形づくりに生かした班も見ることができた。

○自分の頑張りや友達のよかったところを振り返らせる。

【仮説 1-④】

自分たちが英語に慣れ親しみ、たくさん発話できたことを実感していた。ゲーム形式の活動を取り入れたことで、集中を切らさずに学習できた。